

2023/09/21

やまゆり園障害者施設殺傷事件についての意見書

最首 悟 様

福島市矢剣町11-3星野節子
024-563-7650

取り急ぎ、用件のみにて失礼致します。

私の認識に間違いがあるようでしたら、謝罪致します。ご連絡をお待ちしております。

【意見】

1、障害者施設の職員は、一人で複数名の知的障害者の世話をするので。どれだけ過酷かが判るはずですが、貴殿には、その想像力がありません。想像力がないからこそ、植松聖さんを悪者にできるのでしょう。植松さんは「何もできない者、歩きながら排尿・排便を漏す者、穴に指をつっこみ糞で遊ぶ者。奇声をあげて走りまわる者、いきなり暴れ出す者、自分を殴りつけて両目を潰してしまった者」と記述しています。貴殿は、そういう環境で世話できますか？

できないからしてないのに、植松さんを批判するのは貴殿が独善的だからです。

2、貴殿は「障害児を普通学級へ・全国連絡会」の世話人をなさってます。

普通学級のひとクラスに何人いるか判りませんが、仮に30名いるとして、一番頭の良い子にペースを合わせて教えたら、下の子はついていけない。一番下の子に合わせたら上の子がイライラする。教師が両方の板挟みになって苦勞するのは想像がつきます。

貴殿は教師の苦勞を考えもせずに、「障害児を普通学級へ・全国連絡会」の世話人をなさっていることからしても、キレイゴトを並べるだけで、他者への思いやりが欠落しています。キレイゴトを言うなら、先ずは、貴殿がモデルケースを実践すべきです。

口だけの優しさなら幼稚園児でもできます。

3、優しいことを言う人が優しいのではありません。優しいことをするための金銭の負担、労働力の負担をする人が優しいのです。貴殿は、キレイゴトを並べますが実行はしないため、軽蔑します。神奈川新聞も同様です。貴殿が知的障害者に優しいなら、貴殿は障害者施設で働いて、障害者に優しく接すれば良いだけです。できていないではありませんか！

4、植松聖さんは、初めは「知的障害者はかわいい、天職だ」と言い、子供の頃は、猫を虐めている子供を止めさせたり、友人からは「気さくでいいやつ」と評価されています。

推察すると、植松聖さんは優しいからこそ障害者施設で働き、初めは障害者施設にしては楽な職務に就き、だんだん過酷な職務を背負わされて心身ともに疲弊したのと、国の体制の矛盾に気づき、追い詰められたのでしょう。

5、貴殿は、家族の障害者一人の世話をすると、一人で複数名の、しかもアカの他人の知的障害者の世話をすることの難易度の違いを考えていません。そうだからこそ、『偽善・独善的』な考えに至ったのだと思います。神奈川新聞は、貴殿の稚拙な思考回路を悪利用した独善的な新聞社です。

故・石原慎太郎氏は「障害者を十九人殺した相模原の事件。あれは僕、ある意味で分かるんですよ」と。さすが、都知事だけのことはあります。

6、私が、遺族の立場だったなら、植松聖氏へ「面倒なものを押しつけて申し訳ございませんでした、貴殿が追い詰められた原因は私達、家族にあると思います」と謝罪し、『安楽死の合法化』『植松さんを執行猶予付きに』という活動をします。

7、貴殿は、重度知的障害の実子を最終的にどうするつもりでしょうか？貴殿より、遙かに年齢の若いお嬢様を無責任に残したまま、貴殿ご夫婦はお亡くなりになるのですか？

施設に預ける段取りをつけていたとして、お嬢様が施設で幸せに暮らせる保障はどこにもありません。なぜなら、施設職員は、過酷な労働条件にあるからです。貴殿は、お嬢様のことが心配ではないのですか？

「安楽死の合法化」の意義は、障害者のご両親の心の負担を減らすということです。

8、貴殿と裁判所で話し合いたいと考えております。連絡先を教えてくださいませんか？

※貴殿のような傲慢な偽善者を許せないのと、植松聖さんの理念である『安楽死の合法化』を求める観点から、この文書は岸田総理、麻生副総理、幹事長、法務大臣、政調会長、税制調査会へも送付します。一日も早く、反省してください。